

北砂三・四・五丁目地区 不燃化特区支援制度 古くなった建物の建替え、取り壊し等の費用の一部を助成

区では、震災時に火災延焼等の危険性が高い北砂三・四・五丁目地区(北砂三丁目の一部、四丁目、五丁目の一部)を対象に「燃え広がらない・燃えないまち」をめざし、不燃化特区内において一定の要件を満たした老朽建築物の除却や不燃化建替えの促進等の不燃化特区支援制度を実施しています。

この機会に支援制度を活用して建替えをしてみませんか。まずは、お気軽に不燃化相談ステーションへご相談ください。

「老朽建築物の除却に対する助成」
老朽建築物を除却する場合に、除却費の一部を助成しています。

「不燃化建替えに対する助成」
老朽建築物を除却後に、不燃化建替えを行う建築物に対して、設計費および監理費の一部を助成しています。

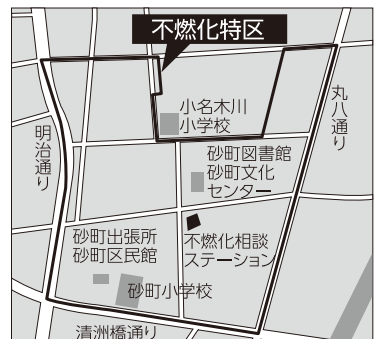
「住替えに対する助成」
除却を行う老朽建築物にお住まいの所有者(借地人のみ)または賃借人の方が住み替える場合に、その費用の一部を助成しています。

「不燃化相談ステーション」
不燃化相談ステーション(水・日曜、祝日、年末年始等を除く午前10時～午後6時)

「地域整備課不燃化推進係」
☎(3647)9491
FAX(3647)9009

「専門家への無料相談」
☎(6666)0580
FAX(6666)0521

不燃化特区内に老朽建築物をお持ちの方、老朽建築物が建っている土地をお持ちの方を対象に、除却や建替えに伴う法律税金・資金計画などに関する相談について専門家が答えします。



【費用】
不燃化相談ステーションに電話または窓口で
☎(6666)0580
FAX(6666)0521

【注意事項】
○助成対象建築物や助成対象者については、一定の要件を満たす必要があります。

在宅で常時人工呼吸器を使用されている方へ 要件を満たす方に自家発電装置を給付

停電時における電力の確保を図るため自家発電装置を給付します。

区内在住で次のすべてに該当する方
①区が「災害時個別支援計画」※を策定しており、自家発電装置を準備する必要があること
②在宅で人工呼吸器を常時使用している
③難病に該当する疾患ではない(他の公的制度で自家発電装置の給付を受けることができない)

「費用負担」
給付する自家発電装置が212,000円を超える場合、当該額は自己負担となります。

「給付物品」
自家発電装置

保健相談所担当地域一覧

保健相談所	担当地域
城東保健相談所 (大島3-1-3) ☎3637-6521, FAX3637-6651	亀戸・大島・東砂1~3丁目
深川保健相談所 (白河3-4-3-301) ☎3641-1181, FAX3641-5557	清澄・常盤・新大橋・森下・平野・三好・白河・高橋・佐賀・永代・福住・深川・冬木・門前仲町・富岡・牡丹・古石場・越中島・千石・石島・千田・海辺・扇橋・猿江・住吉・毛利・木場・東陽・新砂(1丁目1番)・南砂(2丁目1番1号~5号、5番~7番)
深川南部保健相談所 (枝川1-8-15-102) ☎5632-2291, FAX5632-2295	塩浜・枝川・豊洲・東雲・有明・辰巳・潮見・青海・海の森
城東南部保健相談所 (南砂4-3-10) ☎5606-5001, FAX5606-5006	北砂・東砂4~8丁目・南砂(2丁目1番1号~5号、5番~7番を除く)・新砂(1丁目1番を除く)・新木場・夢の島・若洲

9月は世界アルツハイマー月間 認知症の方にも 人情が熱いまち、江東へ

認知症は誰しもなり得る身近な病気です。認知症の方が尊厳と希望をもって認知症とともに生きる、認知症であってもなくとも同じ社会で自分らしく生きていくことができる社会を目指しましょう。区では認知症に関するさまざまな事業(別表)を展開しています。

認知症に関する情報のパネル展示
区立図書館および区役所2階で認知症に関するパネル展示を行います。

認知症サポーター養成講座(小学4~6年生対象)
認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族に対して暖かい目で見守る認知症サポーターを養成する講座

認知症講演会「コロナ禍における認知症予防の最新情報」
認知症を正しく理解し最新の予防や治療方法を知るとともに、たとえ認知症になったとしても地域で生き生きと暮らしていくことについてお話しします。

認知症講演会「コロナ禍における認知症予防の最新情報」
1・2研修室(北砂5-1-17) 10月1日(金)午後2時~3時半 場砂町文化センター第3時 場砂町文化センター第3時 場砂町文化センター第3時

事業名	内容
認知症サポーター養成講座	認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の方やその家族を温かく見守る認知症サポーターを養成します。
認知症カフェ	認知症カフェは、認知症の方とその家族、支援者、地域住民の誰もが気軽に参加できる交流場所です。
おれんじる~む(認知症家族交流会)	認知症の方の介護経験があるご家族が集まり、お互いに不安や悩みを分かち合い息抜きをする交流会を開催しています。
高齢者みまもりアイテム	ひとりでの外出に不安のある方に、見守り登録番号を記載した高齢者みまもりキーホルダーを配布しています。
ただいまプロジェクトアプリの推奨	認知症などで、外出に不安のある方による行方不明や事故を防ぐため、地域の皆様の協力を得て見守り、保護するシステムです。ご登録いただくと、行方不明になった際の情報が協力者のスマートフォンに届きます。
認知症初期集中支援チーム	医師と介護・医療職で構成されるチームが、ご自宅で生活している認知症が疑われる方等を訪問し適切なサービスにつながるよう6か月を限度に支援しています。
認知症ガイドブックの配布(認知症ケアパス)	認知症に関する情報をまとめたガイドブックを配布しています。



厚生労働省ホームページ